

警戒レベルの見方

災害時の行動の基準となる警戒レベルの見方を知り、自分がとるべき行動を理解しておきましょう。

警戒レベル	行動を促す情報	とるべき行動
5 災害発生 又は切迫	緊急 安全確保 ※1	命の危険 直ちに 安全確保!
警戒レベル4までに必ず避難		
4 災害のおそれ 高い	避難指示 ※2	危険な場所から 全員避難
3 災害のおそれ あり	高齢者等 避難 ※3	危険な場所から 高齢者等は避難
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮 注意報（気象庁）	自ら避難行動を 確認
1 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 （気象庁）	災害への 心構えを高める

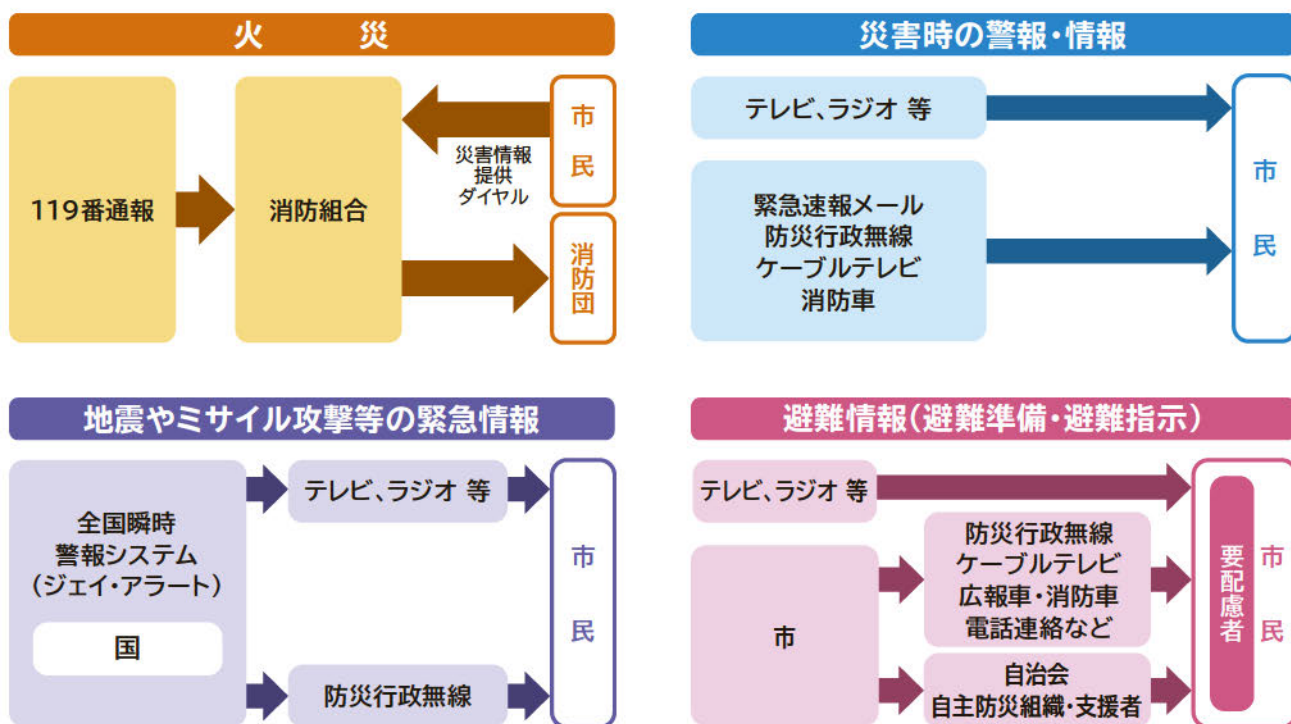
※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

緊急連絡の体系図

実際に災害が起こったときの警報や避難情報などの伝達経路を確認しておきましょう。



災害に備える

役立つ!! 災害時の連絡方法

災害用伝言板web171

災害の発生時、被災地域(避難所等含む)の居住者がインターネットを経由し、伝言サイトにアクセスし、電話番号をキーとして、伝言情報(テキスト)の登録・閲覧が可能です。

- (1) <https://www.web171.jp> へアクセス。
 - (2) 伝言登録の通知先の設定(登録・更新・削除)をしてください。
→伝言の登録、確認をすることができます。
- 体験利用も可能です。家族等と使い方を確認しましょう!

【体験利用日】

- 毎月1日及び15日 00:00~24:00
- 正月三が日(1月1日00:00~1月3日24:00)
- 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

【利用可能な環境】

PC、フレッツフォン、スマートフォン(Android、iPhone)、携帯電話

災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171は、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

録音 被災したAさんが、無事であることを伝えたい
171 + 1 + Aさんの自宅の電話番号

再生 家族や友人が、Aさんの安否を確かめたい
171 + 2 + Aさんの自宅の電話番号

登録できる電話番号は被災地区の電話番号です。市外局番からのダイヤルが必要です。

【利用可能な電話】

一般電話(プッシュ回線、ダイヤル回線)、公衆電話、携帯電話、INSネット64・1500、メンバーズネット、災害時特設公衆電話



アンダーパス 立体交差で、掘り下げ式になっている鉄道や道路の下を通る地下道のこと。台風や集中豪雨時には雨が流れ込んで冠水し、車両が水没することもあるので注意しましょう。